2013年７月２日

各　　位

東京都港区虎ノ門四丁目１番28号
日本通信株式会社
代表取締役社長　三田　聖二
（コード番号：9424）
問合せ先　代表取締役副社長　福田　尚久
電話　03－5776-1700

米国事業統括会社 JCI US 設立に関するお知らせ

日本通信株式会社（以下、「当社」という）は、下記の通り米国における事業統括会社の設立および子会社の商号変更を行いましたので、お知らせいたします。当社は従来から、当社の特許技術を活用したデータ通信サービスを米国で提供していますが、この無線専用線サービスは、米国の厳格なセキュリティー基準の認定を受け、ＡＴＭ（現金自動支払機）等のＭ２Ｍ市場において無線通信の新たな市場を確立しました。当社は、同サービスを日本市場で展開することを視野に入れ、今般、米国子会社３社を再編し、新たに米国事業統括会社を設立したものです。

記

１．米国事業統括会社の設立

当社では、早急な成長が期待される米国子会社３社（Communications Security and Compliance Technologies Inc.（以下、「ＣＳＣＴ」という）、Computer and Communication Technologies Inc.（以下、「ＣＣＴ」という）およびArxceo Corporation（以下、「Arxceo」という）をそれぞれの事業に専念させるため、３社を米国で統括する事業統括会社としてJCI US Inc.（以下、「JCI US」という）を設立しました。

JCI USの設立後、当社が保有するＣＳＣＴ、ＣＣＴおよびArxceoの株式をJCI USに現物出資することにより、JCI USを当社の完全子会社とし、ＣＳＣＴ、ＣＣＴおよびArxceoをJCI USの完全子会社とします。

当社は、JCI USの設立により、米国事業の中長期的な経営計画を一層強化し、米国子会社によるシナジーが生み出せるよう、事業の合理化を目指します。

＜JCI USの概要＞

商号	JCI US Inc.
所在地	61 Inverness Drive East, Suite 250, Englewood, CO 80112
設立準拠法	米国デラウエア州法
代表者	President and CEO 三田　聖二
設立日	2013年７月１日（米国時間）
資本金	50万米ドル
決算期	３月
株主構成	当社100%

２．子会社の商号変更

ＣＳＣＴが米国で提供しているＡＴＭ向け無線専用線事業を日本市場でも展開するため、当社と同社との間で、同社を完全親会社、アレクセオ・ジャパン株式会社（以下、「アレクセオ・ジャパン」という）を完全子会社とする株式交換を行います。これにより、アレクセオ・ジャパンはＣＳＣＴの子会社となります。

併せて、両社のブランドイメージを統一・強化するため、下記のとおり、両社の商号を変更し、それぞれ、Contour Networks Inc.およびコントゥアー・ネットワークス・ジャパン株式会社とします。

＜当該会社の概要＞

① 商号（変更前）：Communications Security and Compliance Technologies Inc.
商号（変更後）：Contour Networks Inc.
所在地：1349 W. Peachtree St., Suite 1740 Atlanta, GA 30309 USA
事業内容：通信サービスの提供
資本金：363.71 米ドル

② 商号（変更前）：アレクセオ・ジャパン株式会社
商号（変更後）：コントゥアー・ネットワークス・ジャパン株式会社
所在地：東京都港区虎ノ門四丁目１番 28 号
事業内容：通信サービスの提供
資本金：50 百万円

３．当社の連結業績に与える影響

当社の平成26年３月期の連結業績予想は、2013年５月９日に公表した数値から変更はありません。但し、JCI USの設立により、今後は、米国子会社3社の業績はJCI USで統括され、JCI USと当社を連結することになります。当社の連結売上の22%を占めるＣＳＣＴ（現Contour Networks Inc.）の売上は他の米国子会社２社と合わせてJCI USで連結され、JCI USと当社が連結されます。

４．当社のグローバル戦略について

データ通信サービスの利用者が望むのは地域に限局された製品ではなく、広く使える製品です。こうしたサービスを提供可能にするのが、コンピューターの技術と通信の技術を融合させた当社独自の技術です。当社は、創業したその年に、米国コロラド州に開発会社であるＣＣＴを設立し、新しい技術を開発できる技術者を世界中から採用しました。ＣＣＴに続き、2006 年には事業会社であるＣＳＣＴ（現 Contour Networks Inc.）を設立し、日本で提供している通信サービス事業の米国展開を開始しています。また、日本から米国に向けたシナジーに加え、2006 年には米国 Arxceo 社を買収、同社のセキュリティー技術を取得し、日本にアレクセオ・ジャパン（現コントゥアー・ネットワークス・ジャパン株式会社）を設立して、その技術を製品化したサービスを日本市場に紹介しました。これらの当社子会社の従業員は、当社と同様にクルーシステムで育成しています。2012 年には、日本と米国で連携したコールセンターの運用を開始し、顧客サポートにおいても、地域別ではなくグローバルに提供しています。

今日、世界中でグローバル化の波が加速しています。我が国においても、グローバル経済の中で、再び主導権をとるための数々の政策が試みられています。日本企業の中には、グローバル展開のため、社内の公用語を英語と定め、人材も海外から採用するなどの取組みが行われています。しかし、グローバル、すなわち地球という観点からみた場合、言語や国というのは、地域の属性に過ぎません。真

のグローバルとは、常にどこかで夜が明け、人々が社会生活を営み、必要なニーズを対応するオペレーションが存在しているという事実です。当社では開発をはじめとする様々なファンクションが、時差を味方につけ、24時間を効率的に活用できるFollow the sun(太陽を追いかける)という体制をとっています。

当社代表取締役社長、三田聖二はこう語っています。

「グローバルに事業展開することは日本通信の創業当初からの戦略です。いよいよ、この時期にFollow the Sun の体制をうつのは、お客様からのニーズが生まれてきているからです。当社のクルーシステムも軌道にのり、グローバルなデマンドに対応できるかたちがとれるようになり、光栄です。」

■日本通信について

1996年5月24日、日本通信は新たなモバイルサービス事業のあり方を提示するため生まれました。それから13年の歳月を経て、2009年３月、NTTドコモとの相互接続により「MSO事業モデル」を完成させ、それから２年弱でこのモデルの収益性を実証しました。ネットワークを効率的に運用する当社独自の先端技術やリアルタイムの認証技術などによって、ユニークな通信サービスをつくりだし、自社b-mobileブランド製品をお客様に提供するMVNO事業、及びメーカーやインテグレータ他のパートナー企業に提供するMVNE事業を展開しています。

MSO=Mobile Service Operato